

四日市版コミュニティスクール報告書(平成 30 年度総括)

四日市市立桜中学校
校長 森田 定

1 コミュニティスクール(学校運営協議会)のねらい

本校は、平成28年度に四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「桜中学校運営協議会」が発足しました。このことは、本校の学校づくりビジョンの柱のひとつである「家庭と地域等との連携」を推進するための大きな力となっています。

今後は、保護者や地域の方々の様々な視点から意見等を本校の教育方針や計画作成に活かし、学校経営の改善を図ることで、地域に信頼される学校づくりを目指しています。

2 コミュニティスクール(学校運営協議会)の実践について

本校の運営協議会は、本年度5回の会議を持ちました。第2回から第4回の計3回は、桜小学校・桜台小学校の運営協議会と合同開催をし、各校の取り組み実践を中学校区で共有することで、地域の力を学校運営に生かすことを学ぶことができました。また、協議会では、地域にある学校として四日市西高等学校にも参加を依頼し、保幼小中から高校までの18年間の学びの中で、地域ぐるみの連携をしています。

(1) 方針の明確化 —地域理解と地域貢献—

昨年度「将来住みたくなる桜地区について」というテーマで、地域団体と生徒との懇談会をもちました。生徒たちが要望的な意見に終始するなか、その委員から「地域への願いも大切だが、自分たちが地域のために何ができるかも考えてほしい」という意見があり、これを貴重な提言と捉えた結果、「地域理解」と「地域貢献」をCS活動の基本方針とすることにしました。



【生徒と地域住民との意見交換の様子】

(2) 植栽事業と地域PR映像集



【矢合川岸での除草作業の様子】

本校近くを流れる矢合川では、地域の老人会などが中心となって、三重県が進める「フラワーオアシス推進事業」を実施しています。この事業は水辺に四季折々の花木を植栽し、住民とともに河川の良い維持とうるおいのある河川空間の形成を図ることを目的に実施されていますが、近年はその担い手が不足していました。そこで3年生がこの事業を支援することになり、学級単位で除草・肥料散布などの作業を行いま



した。そして6月には、老人会等と協働での植栽作業が行われ、これには全学年から募集した40名ほどが参加しました。

また、3年生は地域貢献の一環として、地域の良さをアピールする映像集を学年で作成しました。このために、生徒たちはテーマ別に地域を探索・取材し、質問したり撮影したりして、桜地区の見どころをまとめた。今後は、映像集を地域に紹介していきたいと考えています。

【映像集の一コマ】

(3) 高齢者と交流

桜地区は、住宅団地の高齢化が進んでいることもあって、高齢者の福祉施設や多数の高齢者サロンがあります。そこで今年度、1・2年生がこれらと積極的に関わりました。具体的には、2年生は新たな職場体験の事業所に地区内の高齢者福祉施設を加えました。1年生は福祉体験の一環として、サロンに出向いて合唱などを披露し高齢者と交流しました。



【「桜南ほかほかクラブ」との交流の様子】

(4) CS活動発表会

年度末(2月16日)、全校集会において、各学年から年間のCS活動を発表しました。この集会にCS関係者や保護者を招き、活動について率直な意見をいただきました。

この集会で期待される効果としては、生徒は、他の学年の取組を知って刺激を受け、CS活動に向けて意欲を高めることにあります。これは教員にとっても同様であり、さらに今後のCS活動に見通しをもてる契機となっていくと思われます。

(5) その他の実践事例

◀挨拶運動と下校見守り活動▶

本校では、定期的に職員による登下校指導に加え、生徒会、室長会、専門委員会による「あいさつ運動」を実施しています。また、「桜地区安全・安心まちづくりの会」の方々による下校見守り活動をしていただいています。

《総合的な学習の時間》

本校では、「総合的な学習の時間」を通して、キャリア探求力と進路設計力、課題解決力と目標達成のための実践的能力を高める学習と活動を行っています。

1年生では、CO-labo(コラボ)と称して、福祉活動を中心に学習しました。中でも、桜地区ボランティア協会と四日市市社会福祉協議会の方々にご協力をいただき、福祉講演など地域の方から話を聞く機会を設けました。

2年生は、JOB-Study と称して、キャリア教育を中心に取り組みました。実際に社会で活躍されている方々の話を聞き、生き方やエピソードについて学び、地元の事業所の協力を得て行う職業体験学習へとつなげました。

3年生では、Dream-Plan と称し、自分の進路を考える取組をしています。文化祭では、夢の具現化をしていくための道具「夢地図」を展示し、代表者による発表をしました。



【地域の方々によるあいさつ運動】



【社会人に聞く】



【福祉講演会】



【夢地図発表】

《桜地区人権大会に参加》

桜地区では毎年、桜地区人権・同和教育推進協議会主催のさくら人権大会が開催されます。この大会では、校区の小中学校・高等学校の代表が人権について学習成果を発表しています。

《部活動・有志でも地域の活動に参加》

桜中学校は、文化部も積極的に活動しています。

音楽部は、夏休みに幼稚園と保育園を訪問して演奏会を開き、園児とともに楽しいひと時を過ごしました。

美術部は、桜地区の文化祭に出品し、自分たちの活動を地域の方々に見ていただく機会となりました。



【さくら人権大会で発表する生徒】

《桜中学校生徒と地区住民との協働体験型訓練 桜地区防災フェスタ》

いつ発生するかわからない大災害に備えるために、防災、減災に関心を持ち、実践できるように、地区の方々と桜地区防災フェスタが桜台小学校を会場に開催されました。桜中学校からもスタッフとして多くの生徒が40名ほど参加しました。防災意識の向上とともに、防災リーダーとして桜地区の一員として災害に負けない強さを持った人として、地域

に貢献できるように成長してほしいと願っています。また、防災フェスタを通して学校と地域がつながるとともに、地域の方にも桜中学校を知ってもらう良い機会となりました。



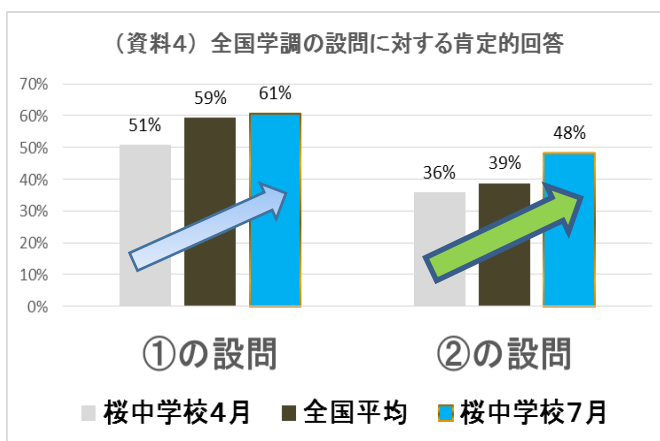
【桜地区防災フェスタにスタッフとして参加した生徒たち】

3 コミュニティスクール(運営協議会)の取組による効果

(1) 数値に現れた成果

C S活動の取組による成果は、数値からも裏付けられました。

4月実施の全国学調の地域貢献に関する調査結果(下の設問①②)は、全国平均をかなり下回っていました。しかし3年生は、前述のように全国学調後にC S活動を実施したので、7月に再調査したところ、その成果がはっきりと数値で確認できました(資料4)。



設問①「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか」の肯定回答

設問②「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか」の肯定回答

(2) 地域行事への参加

C Sの下地となる地域連携を図るため、地域行事を学校だよりなどに掲載し参加を呼びかけました。それにより、防災行事など中学生の参加が増加し、地域から大変喜ばれました。生徒からは、「地域の方が自分たちに期待していることを実感した」「地域のための活動には大変やりがいを感じた」という感想がよく聞かれました。

4 今後に向けて

本校では、このコミュニティスクールを生徒の豊かな成長を促進させるための重要な方策としています。そのために、先進校の取組を参考にしつつ、桜地区に合い、根差した、桜中学校独自のスタイルを確立していくよう努力しています。今後も委員のみなさまのご協力をいただきながら、さらに前進させていきたいと考えています。

最後に、重要なことは継続であると考えています。本校の活性化への取組は、まだ始まったばかりです。今後も3年間を見通した系統的な取組とC S活動による地域連携により、主体的で活力にあふれた生徒を粘り強く育成していきます。

別紙B

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 桜 中学校

委員長 神田 幹雄

校長 森田 定

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	15日(火) 第1回学校運営協議会 9:30～(桜中学校)	教育委員会より運営競技委員の委嘱 平成30年度学校づくりビジョンの説明と承認 平成30年度年間行事計画と活動方針の検討 意見交換
6	16日(土) 第2回学校運営協議会 9:30～(桜台小学校)	桜台小学校運営協議会と合同開催 桜台小学校の授業を参観 校区内の児童・生徒の様子について懇談
7		
8		
9	5日(水) 第3回学校運営協議会 14:00～(桜小学校)	桜小学校運営協議会と合同開催 桜小夏休み作品展見学 夏休みにおける校区内の児童・生徒の様子について懇談
10		
11		
12		
1	19日(土) 第4回学校運営協議会 9:00～(桜小学校)	桜小・桜台小学校運営協議会と合同開催 中学校区3校で校区内の児童・生徒の様子について懇談 桜小学校の授業を参観
2	16(土) 第5回学校運営協議会 9:00～(桜中学校)	学校教育診断集計結果・学校関係者評価報告 今年度の総括と来年度の予定 質疑応答 桜中学校「学習発表会」参観
3		